

令和2年度 第7回
日野市教育委員会臨時会議事録要旨

令和3年（2021年）3月18日

日野市教育委員会

令和2年度第7回日野市教育委員会臨時会

開催日時 令和3年(2021年)3月18日(木)
11時04分～11時43分

開催場所 教育委員会室

出席委員 教育長 米田 裕治 委員 高木 健夫
委員 西田 敦子 委員 東 桜子

欠席委員 委員 真野 広

議事録署名委員 委員 西田 敦子

事務局出席者 教育部長 村田 幹生 教育部参事 高橋 登
教育部参事 志村 理恵 教育部参事 谷川 拓也
(議事録作成者)
庶務課長 伊藤 浩一 学校課長 久保田 博之
統括指導主事 田村 孝夫

傍聴者 なし

書記 庶務課庶務係長 馬場 康二

議事内容 別紙のとおり

この議事録は事実と相違ないことを認め、ここに署名します。

議事録署名

委員

西田 敦子

議事録署名

教育長

米田 裕治

議事内容

協議事項

第9号

緊急事態宣言解除後の市立幼稚園・小学校・中学校の教育活動等について

(議事の要旨)

開始 1 1 時 0 4 分

[米田教育長]

ただいまから、令和 2 年度第 7 回教育委員会臨時会を開会いたします。

なお真野委員から本日の臨時会に対して欠席届が提出されています。

本日の議事録署名は、西田委員にお願いいたします。

本日の案件は、協議事項 1 件です。

協議事項第 9 号・緊急事態宣言解除後の市立幼稚園・小学校・中学校の教育活動等について、事務局より説明をお願いします。

○協議事項第 9 号 緊急事態宣言解除後の市立幼稚園・小学校・中学校の教育活動等について

[伊藤庶務課長]

議案書 1 ページをご覧ください。協議事項第 9 号・緊急事態宣言解除後の市立幼稚園・小学校・中学校の教育活動等についてご説明いたします。令和 3 年 3 月 5 日に国による緊急事態宣言の期間延長が発出され、期間が 3 月 2 1 日まで延長されているところです。ここで国は本日 3 月 1 8 日に対策本部を開催し、緊急事態宣言を 3 月 2 1 日日曜日で解除予定と報道されております。緊急事態宣言が解除された場合について、3 月 2 2 日月曜日以降の市立小学校・中学校・幼稚園の教育活動等について協議をお願いするものです。なお協議の結果につきましては、明日 3 月 1 9 日金曜日開催予定の日野市特措法新型コロナウイルス対策本部会議に提案し、市としての対応を決定いたします。

[谷川教育部参事]

事務局として緊急事態宣言解除後の教育活動、春休みの生活を含めて提案させていただきたいと考えております。学校運営の基本方針の説明に入る前に、現状としましては今日 1 日 4 0 0 名程の陽性者が出ていることから、学校としては感染拡大防止、感染予防対策は継続が必要であろうと前提で現在考えさせていただいております。学校運営、来週 1 週間、2 5 日までは学校教育活動は通常通り子供たちは登校し行われておりますので、感染予防、感染拡大防止対策を実施し、子供たちの学びと育ちを支える教育活動を継続していきたいと考えております。更にやはり 3 月はかけがえのない時期でございますから、子供たちのかけがえのない学び、人とひととの繋がりを大切に活動については丁寧に大切に進めたいと考えております。ただやはり教育活動を進めるにあたっては、これまでと同様に保護者の皆様に丁寧な説明を行い、理解していただくことも大切だと考えております。2 6 日から春季休暇となりますが、やはり春季休業日は一人ひとり子供たちが自らの成長を振り返ると共に、将来への希望や夢に取り組む時期でもありますので、そういった教育活動を最後の 1 週間学校には進めていただきたいと思います。特に新型コロナウイルス感染症対策で新たな学び、学校活動で想像されてまいりました。こういったところについては各学校で振り返っていただきたいと思いますと考えております。

続きまして児童・幼児・生徒に対する指導についてでございますが、宣言が解除されま

しても引き続きこれまで同様感染予防・感染拡大防止対策については継続してまいりたいと考えております。しかしながら部活動につきましては子供たちの成長を考え、春の大会等も控えていることから子供たちの気持ちを考えますと、基本的には感染予防・感染拡大防止対策を徹底した上で日野市立中学校の部活動ガイドラインを踏まえて活動していただければと思います。しかし、もしも陽性であるとか、濃厚接触者であるといった場合、感染のルートを追っていかなければならない、明らかにしていかなければならないといったこともありますので、対外試合や合同練習など感染予防・感染拡大防止対策を徹底した上で実施することは可能だと思うのですが、ただ他市との練習試合や交流活動については控えていただく。市内で行っていただくことが大切なのではないかと考えております。

それから3年生を送る会等も実施されていると思いますが、これもかけがえのない行事、大切なことだと思いますので、ここも感染予防・感染拡大防止対策を徹底した上で実施していただきたいと思います。

学校行事についてですが、明日には中学校の卒業式、来週は小学校の卒業式を控えております。そちらにつきましては、緊急事態宣言が解除されましても、以前通知した内容で感染予防に努めた上で実施していただければと思います。各校はそれぞれ保護者と相談して実施の計画を進めておりますのでそれに基づいて進めていただきたいと考えております。

入学式に合わせましても、これまでの通知に基づきまして、各学校で進めていただくことを計画しております。

続きまして家庭における感染症予防の依頼が必要かと考えております。といいますのも春休みに入りますのでやはり学校から家庭で過ごす時間が増えてまいります。これに基づいてはこれまで通り家庭に菌を持ち込まないような行動をお願いしたいと思います。手洗いを徹底するようなところはもう一度学校で呼びかけていただきたいと考えています。

併せて教職員の異動が年度末に行われますので、教職員の健康管理についても学校にお願いをすると共に感染予防については引き続き努めていただきたいと考えております。

[米田教育長]

事務局からの説明が終了いたしました。質問がございましたら、お願いします。

[高木委員]

部活動について教えてください。緊急事態宣言中、直近では1時間程度の活動を工夫して行うという方針が進められていたわけなのですが、今回解除にあたってですね、市立中学校部活動ガイドラインに基づいた活動を工夫して行うとあるわけですが、もう少し時間的目安など具体的な内容について説明いただければと思います。よろしくお願いします。

[米田教育長]

この3月の状況も併せてご説明ください。

[田村統括指導主事]

ガイドラインの状況を説明させていただきます。平日は2時間、土日に関しては土日どちらか1回で3時間が目安となっております。このガイドラインの特徴が子供・保護者・先生の対話によって練習内容を決めていこうという事で、コロナということで非常に重要になってくると思いますので、一方的にこれをやるんだ話し合いを持ちながらやっていくんだということを基軸にしていきたいと思っております。

また3月の状況ですが、ここ2週間部活動が再開したというところで、1時間という限定的なものになっていますが、各学校校長先生方からお話を聞かせていただいたところ、どの学校も活気が戻ってきたというようなことをおっしゃってありました。子供たちは大きな声を出して練習というのはなかなか出来ないのですが、顔をみると凄く良い表情になっているという事です。子供たちの感想ですと「運動が出来て嬉しい」「土日はクラブチーム等で身体を動かしていたけれど、平日も活動出来てよかった」というような意見が多く出てきたと伺っております。

[米田教育長]

他にご質問があればお願いいたします。

[東委員]

解除後の学校行事、主なものとしては卒業式になると思うのですが、卒業式に関してどのようにしているのか教えていただけますか。

[田村統括指導主事]

卒業式ですが、基本は密を避けるということで学校規模にもよりますが、保護者は来場し、1名又は学校規模によっては2名というところで参加してもらいます。来賓にしましては来賓無しで卒業式は行います。式の後、外に出てクラスごとの記念撮影や、門出送りをするなどを考えているところです。各学校工夫しながら最後思い出に残る卒業式を行おうという工夫をしているところです。三沢中学校のみ校庭で実施という計画をしているところです。

[米田教育長]

他にご質問はございますか。

[米田教育長]

先ほど参事の説明で冒頭各学校この1年間を振り返ってという話でした。4月から日野市の幼稚園・小学校・中学校全体の状況をちょっと振り返ってもらえればと思うのですが、いかがでしょうか。

[田村統括指導主事]

昨年4月、5月と学校では緊急事態宣言の下、臨時休校になりました。また学校再開後も様々な学校行事に制限がかかったり、中止になったりしました。授業も従前とは異なるものでした。しかし学校現場ではコロナ禍で出来ることは何かという視点で教員・児童生徒・保護者・地域の方と共に知恵を出し合いこの1年を進んできました。

例えば今まで学校行事は学校が決めたものを児童生徒が行っていたものを、先生と児童生徒が対話をして決めたり、児童生徒から提案して授業等が進んだり新たな学びの創造が行われた1年でした。令和3年度はこの新しい学びを更に子供・家庭・学校・地域で対話をしながら造りあげ、第3次日野市学校教育基本構想を推進するとともにタブレットPCを活用し、コロナ禍でも学びを止めない授業展開を進めていくことが、各学校今1年間コロナを通して感じてきているところだと思います。

[米田教育長]

他にご質問はございますか。

[西田委員]

ありがとうございます、今のお話よくわかりました。この卒業期に、また新学期に向かってそれぞれの学年、学校は色々な計画を立てていたところだと思います。毎年大変良い活動が行われるのですが、この制約の中でなかなか思うようなことができなかったことと思います。特に今の困難な状況の中で、工夫して良い活動が行われるような子供たちの心の中には、楽しくて豊かな思い出ができた、そのような例がありましたら、たくさんあると思いますので1つか2つ例を教えてくださいませんか。

[田村統括指導主事]

まず小学校です。小学校の例でいいますと例えば運動会、子供たちから先生方にこういう活動はどうでしょうか、というプロジェクト型のような子供たち自ら発信をして運動会を作り上げていったこと、また近件では移動教室の代替え行事としてマス釣りに行ってきたと。子供たち実際に釣りを行ったことのある子もそうではない子もいるのですが非常に生き生きとやっているというところで、良かった、いい思い出ができたと話を聞いております。魚が給食でも食べられない子も現場で焼いた魚を美味しく食べていたということで非常に良い活動ができたと聞いております。

また中学校です。代替行事で緊急事態宣言が延長したことでできなくなった学校が1校ありましたが、子供と先生で何をこれからしたいかと対話をしたところコロナ禍の1年間でなかなか話ができなかった、一緒に活動ができなかったので時間を作って欲しい。みんなで最後一緒に過ごしたいという思いが出てきたというところで、時間を設けて各々男女一緒にバスケットボールやバレーボールをやったり、3年間今まで一緒に学んできた仲間と話をしたりですとかそういった有意義な時間が取れたと聞いております。

また先生方のサプライズプレゼントということなのですが、話し合いの中で、昨年度異動した先生にも会いたいという声上がり、それを聞いた先生が異動先の学校に連絡し来てほしいとオファーをかけたところ当日その先生が来て語り合って良かったということで、1時間が終わって子供たちも満足した様子だったと伺っております。

[西田委員]

私も運動会や展覧会を見せていただいたのですが、運動会も今までになかったような新しい工夫がありました。短い時間の中で、運動量は多いし、子供たちが十分楽しめるような演技をしていました。また展覧会も準備の時間が十分に取れなかったと思うのですが、本当にエネルギーの溢れた力強い、そして美しい作品を作っており感動いたしました。

[米田教育長]

他にご質問はございますか。

[東委員]

この1年を通してでも良いのですが、コロナの影響で学校に来られなくなった子供たちのことを学校が把握しているものや、SSWが把握しているものを含めて教えてください。

[谷川教育部参事]

新型コロナウイルスの影響で登校できなくなったお子さんにつきましては5名おります。ただそのうち1名は学校に登校できるようになっておりますので、現在は4名かなと思います。新型コロナウイルスが心配で登校できないお子さんについては、学校が1週間ごとに担当が自宅訪問をして学習の資料であるとか、教材をお渡ししていたということが続

いておりました。しかしやはり今学校にあるパソコンを使いましてオンラインで学校の授業の様子を流して子供たちが家庭で見るといった実践例を積み重ねている学校もございます。ただ全時間はできないのでそういった学校につきましては、担任が訪問し、この時間とこの時間はオンラインでやりましょうと話をし、状況によっては子供たちも相互で授業に参加する、意見を述べたりすることができるといった取り組みも進めることができました。今のところクラスによって1人しかいないということもあるので、各家庭を訪問する担任も対応ができるのですが、今のところそういった工夫で子供たちの学びを止めないようにしているといったところです。学びと人との繋がりですね、これを切らないようにしようとして取り組んでいるところです。

[志村教育部参事]

スクールソーシャルワーカーの活動を通してということで、スクールソーシャルワーカーは学校に行けないお子さんの支援についてはこの間もずっと続けております。スクールソーシャルワーカーが今関わっているお子さん、児童・生徒のなかでは、この緊急事態宣言を受けて特に大きな変化はなく過ごしていらっしゃいます。一つスクールソーシャルワーカーの活動のなかで、オンライン相談ができるようになったので、それによってなかなか会えなかった子共と、その子はすごくパソコンに長けていたので、オンラインでやってみたいという希望があったので、オンライン繋がるケースが1人いたので、今回こういった形で新しい繋がりが持てるようになったのは一つ良かったなと思っております。

スクールソーシャルワーカーが関わっている今中学3年生のお子さんについては、全員進学先が決まっております。今後もメールとしては支援を続けていく予定でございます。

[米田教育長]

他にご質問はございますか。

[西田委員]

色々制限の多い学校活動をするうえで、先生方のご苦勞も大変なものがあったと思うのですね。自分の健康管理もさることながら、毎日毎日の感染予防対策や授業の工夫だのいろいろなことが行われる中で先生の健康状態も心配もあるのですけれども、そのあたりの教職員の健康状態についてももし把握していることがございましたら教えていただきたいです。

[谷川教育部参事]

教職員につきましては感染予防、各学校で本当によく努めてくださいました。放課後の消毒作業、時間内でもスイッチや蛇口や手すりなどこまめに消毒していただきまして感染予防してくださいました。先生だけではなくて更にスタッフの方、スクールサポートスタッフも含めまして予防に努めてくださいました。その成果だと思います。校内での、子供から子供への感染が無かったということで、本当に安心しているところです。

先生方も感染するのではないかとということ、やはりご家庭に高齢者の方がいらっしゃるとか基礎疾患を抱えていらっしゃる方もいるということで、何名かご相談も頂きましたが、先生方そこは感染予防を徹底していただいて、新型コロナウイルス感染予防について正確に勉強してくださったというところで安心の材料を膨らましてくださったのかなと思いました。2月に全校長先生方から聞き取りを行いました先生方についても、先生方は新

型コロナウイルスについての不安は今のところほとんど抱えていないということと、負担に感じていることはないですがということについても、子供たちの学習環境を守るところで消毒作業についても行っていきますと、ほとんどの先生がおっしゃっているところでした。不満は聞いていないということでしたので先生方には感謝するばかりです。

[米田教育長]

他に質問はございますでしょうか。

なければ、ご意見を伺います。

[高木委員]

緊急事態宣言 21 日までということと予定されていたわけですが、解除に向けた動きが報道されているということで、色々今後に向けての教育活動について基本方針ですとか部活動、学校行事等についての考え方を聞いたわけなのですが、基本的にはそうした方向で良いと考えています。

現下の東京都の感染状況を顧みると決して安心できる状態にはないということは皆さん感じていることだと思いますし、またここで特に学校卒業式後 2 週間あまりの春休みに入りその後入学式、始業式を迎えるわけですが、参事からもありましたように今まで学校内からの感染者が出ていないというのは先生方、職員の協力もさることながらやはり児童・生徒自身がコロナ感染とどう向き合うのか、感染予防の振る舞いが非常に身につけてきてきちんとやられてきていることの結果だろうと私も考えております。そういった意味ではやはり元気に卒業し、新年度を迎えることがこれから非常に大事になりますので、ただ今ありましたように家庭での対応ですとか、先生方もこの 2 週間コロナに気をつけながらきちんと予防対策をしてもらうことが非常に大事だと考えておりますので、今後にむけてはそのあたりの予防対策の周知徹底、きちんとやっていただくことを家庭内・学校・先生方には是非お願いをして、また元気に新しい場面での新学期が迎えられるように要望しておきたいと思います。

[東委員]

今回の解除後の方針として段階的に学校教育活動を通常に戻していくような基本方針、賛同いたします。今後も推進していただきたいと思います。

特にこの 1 年間、コロナ禍で今までにない教育活動を展開してきていただいて、先ほど事務局からの報告にもありましたが、間違いなくコロナ禍で生まれたものがあった事を確認できました。前回、私達は子どもたちの心情や保護者の心情を考えて勸めていってくださいとお願い申し上げました。子供たちと学校、先生方と話し合っただけで納得をした上で実行できたということ、最終的に全員の納得解にもっていったということはとても素晴らしく、又嬉しく思います。

今回文部科学省から来ている 3 月 5 日の事務連絡を拝見させていただくと学校行事は「子供たちの学校生活に潤いや秩序と変化を与えるものである」という言葉をいただいております、やはり学校行事というものは通常の教育活動に変化を与えるもので、そこから学べる特別な活動として必須であると改めて認識することができました。そして日野市としてもこの 3 学期には人との繋がりが大切な時期だということで、卒業式に関しても学校生活に有意

義な変化や折目をつけて厳粛で清新な気分を味わい、新しい生活への展開の動機付けとなるもの、というような位置付けを改めて確認できました。それぞれの行事を大切に学校教育を進めていくことが大切であること。コロナ禍でも工夫して、子どもたちに進級・卒業の変化を節目を感じてもらい、次への飛躍の気持ちを創り出してしていくというのはとても大切なことだと感じます。周りの大人としても、今後の教育活動を共に考えていきたいと思えます。

[西田委員]

今年度もあと僅かです。まもなく修了式、そして卒業式を迎えます。この残された時間を子供たちは将来の夢とか希望とか友情を確かめ合う濃縮した時間を過ごして欲しいと思えます。そのためにも今まで行ってきた予防対策をしっかり行いながら、良い時間を是非過ごして欲しいと思っています。

また大きな感染というような事態に陥ることもなく、無事に1年間終えて卒業や修了することができた陰に教職員の方々の努力が大きかったと思えます。先ほど参事からもお話し伺いましたけれども、かけがえのない学び、人と人との繋がりを大切に活動を進めてほしいと私たちは願っていましたが、それを実践して良い教育活動を進めさせた学校の皆さんに感謝したいと思えます。またご家庭でも社会的な影響を受けて困難な思いをされた方もいらっしゃると思うのですが、しっかりと感染予防に協力して下さって、子供たちに感染が広がるというようなことがないように協力して下さったご家庭、それを支えて下さった地域の方々に感謝したいと思っております。

これからは緊急事態宣言解除に進んでいくと思えますが、良い季節を迎えますので人の気持ちとして、自由に羽ばたきたいという気持ちは重々ありますが、お互いに気を引き締めあって、感染予防について今まで自分たちが守ってきたことに関しては維持しながら新しい生活に進んでいってほしいと思っております。

[米田教育長]

本日の協議の冒頭で学校の様子が紹介されました。まさに自分たちで考えて自分たちで話し合い、語り合い、自分たちのことを自分たちで生み出してきたと思うのです。やはりその様子をその場に行きますと人々が満たされている、満たされていくなと思えました。それは子供も先生方も保護者もです。第三次構想の1番の要である「すべての命が喜びあふれる未来を作っていく力」の1つはこういうことなのだろうと改めて思った次第です。冒頭事務局の説明中統括から三次構想で進めているこれが基盤となって展開をされているということと、三次構想がやはり大事なのだと現場でも確認が改めてされたとお伺いしました。私たちが今やっている基盤の三次構想、その中の1つの要である対話がとても大事なことになるかと改めて思いました。やはり対話の力が自分たちのものを生み出していき、それが新しい気づきや新しい創造であるとか、それに人々は満たされていく。これから色々なことが世界の中で起きていくことだと思います。その中でも今やろうとしている一日一日を大切にしているそういった学校の力を見させていただいて、感謝をするし教育委員会としては全力で応援をしていきたいと改めて思った次第です。

各委員からもこの大切な卒業式・修了式前の時期と併せて1年間振り返って次への希望を膨らませるこの春休み、春休みは自分の見聞を広めたり、自分の経験を広めたりする

い時期だと思えます。ただこの感染状況の中で自律的に感染予防の行動をして、そして進んでいく。一日一日の力が積み重なって本当の力になっていく、そう思いますので、今の方向でみんなで頑張っていきたいと思えます。

他にご意見はございませんか。よろしいでしょうか。なければ、協議事項第9号を終了いたします。

以上をもちまして、本日の案件はすべて終了いたしました。

これにて、令和2年度第7回教育委員会臨時会を閉会いたします。

閉会 11時43分